

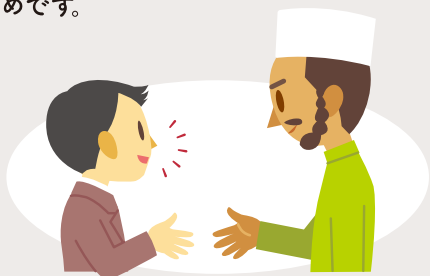
接客について

食事・礼拝だけでなく、生活習慣にも配慮を。

イスラムの戒律は、生活の隅々にまで及んでいます。大切にしている信仰や生活習慣が旅先で尊重されることは、心に残るおもてなしとして喜んでもらえます。

異性と握手するときは ご注意を。

異性とは挨拶であっても握手をしないほうが良いでしょう。異性に触れることができない宗派のムスリムもいます。そもそも握手の習慣がない国があるので、相手が手を出してきてから握手をするのがお勧めです。



おもてなしアクション⑨

意識しすぎず、 男女の扱いは一般的に

ムスリムだからといって意識しすぎる必要はなく、お店での席割り、宿泊施設での部屋割り等は一般的な対応でかまいません。ツアー等では旅行会社で考慮し、希望があれば伝えてきます。その場で対応しなければならない要求があれば、ついたりカーテン等、できる範囲で対応しましょう。

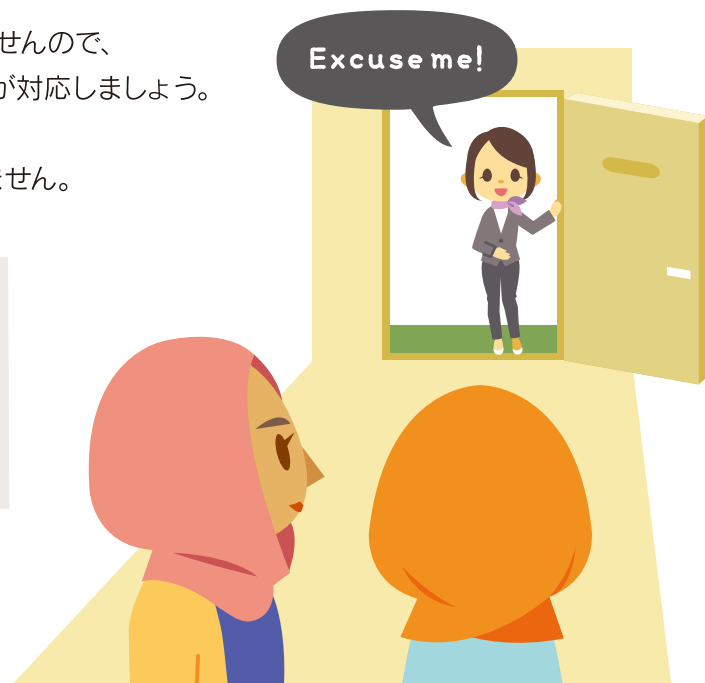


できる範囲で、同性による接客を。

男性は男性が、女性は女性が必ず接客しなければならない、と過敏になる必要はありませんが、状況によって必要な場合があります。日本の一般的な常識プラスαでかまいませんので、個室等に入る場合は、可能な範囲で同性が対応しましょう。同性の対応ができない場合は、事前に説明、確認をしておけば問題ありません。

入浴のご案内について

温泉や浴場等をご案内する際、ムスリムは人前で裸を見せない人もいることを覚えておきましょう。



おもてなしアクション⑩

「わからない」も正直に伝えましょう

「受入経験が少ないこと」「イスラームに関してわからないことも多いこと」を最初から伝えておきましょう。

この「ムスリムおもてなしガイド」を通して、イスラームをできるだけ理解し、対応準備をしておくことも大切ですが、ムスリム観光客が話しかけやすい、コミュニケーションを取りやすい空気をつくってあげることが、何よりのおもてなしになるでしょう。

